

# 山水会

設立 平成4年

構成会員 大学11回～大学20回卒業

例会 奇数月の第3水曜日

会長 加藤英彦（大14回）

副会長 加賀田壮二郎（大16回）

事務局長 安東政義（大16回）

会計 丸井弘美（大16回）

幹事 渡邊新十郎（大16回）

## 山水会

（山水会の今後）

### 心強い16回生



帆足 三郎  
（大学13回）

山水会が誕生したのが平成四年のことで、大学十一回～二十回までの集まりだ。

私が会長を受け継いだのは平成十七年。八鹿の井上義彦氏から、ある日、突然電話がかかってきて「帆足君、次の山水会会長を引き受けてくれないか」と要請された。

四極会では、先輩からの頼まれ事はNOとは言えない、という伝統がある。当然、私も「わかりました。力不足ですが、全力を尽くします。」と返事をしました。

それから十三年間、山水会の会長として何とか努めてきた。ところが、ここ二～三年、定例会（奇数月の第三水曜日）の出席者が減少してきた。会長として、何とかしなくてはならないと思っていた。

その時に手を差しのべてくれたのが十六回生の皆さんでし

た。「そろそろ、あとを引き受けてもいいですよ」と言ってくれた。

この話には、宗公一郎氏、加藤英彦氏、橋本啓氏の三役も同調していただいた。

その後はトントン拍子で十六回生との話し合いが進展した。会長は十三回生からいきなり十六回生に飛ぶのはいかなものか、ということ、十四回生の加藤英彦氏に頼むこととなり、心よく引き受けてくれた。副会長には加賀田壮二郎氏、事務局長に安東政義氏、会計に丸井弘美氏、幹事には渡邊新十郎氏と、十六回生がバックアップしてくれることとなった。

十六回生のまとまりのよさには、いつもながら感心します。来年の三月までは今まで通りの体制で行って、五月から新体制となる。

私としては、残る半年間を精一杯頑張る覚悟です。皆さん、大変お世話になりました。